

《平成21年1～3月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 287社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本 84社	神奈川県 17社	中部日本 52社	西日本 134社
---------	----------	----------	----------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類 48社	包装用容器・キャップ 49社	電気・電子・通信部品 70社
自動車・輸送機器部品 71社	住宅関連 9社	医療機器 25社
その他 11社		

3. 従業員数の内訳

20人未満 76社	21～50人 78社	51～100人 57社	101～300人 45社	301人以上 18社
-----------	------------	-------------	--------------	------------

4. 今期(平成21年1～3月)の自社業況について<()内は前回の結果です>

	前期(平成20年10～12月)比			前年同期(平成20年1～3月)比		
	1.増加	2.横這	3.減少	1.増加	2.横這	3.減少
生産・売上高	6.6 (8.4)	15.3 (29.8)	76.3 (60.9)	7.3 (8.7)	12.5 (18.1)	80.1 (72.6)
製品単価	4.2 (13.4)	61.3 (66.9)	31.4 (18.4)	14.3 (20.7)	47.4 (49.5)	37.3 (28.4)
採算	2.4 (3.0)	20.9 (30.8)	73.9 (65.2)	5.9 (4.3)	16.7 (21.7)	76.3 (73.2)
所定外労働時間	2.4 (5.0)	25.4 (40.5)	70.0 (53.5)	3.5 (4.7)	23.3 (36.1)	72.5 (58.5)
製品在庫	15.7 (18.7)	40.1 (49.5)	42.5 (30.5)	18.1 (19.7)	35.5 (43.1)	46.3 (35.8)
樹脂原料単価	11.1 (45.8)	51.9 (41.8)	35.2 (11.4)	24.0 (61.5)	40.1 (24.1)	35.9 (13.4)
総合判断	3.1 (3.0)	18.1 (30.1)	76.3 (65.6)	5.2 (3.3)	15.7 (21.4)	78.7 (73.9)
来期の見通し	8.7 (1.3)	30.7 (18.4)	56.1 (77.6)	7.0 (1.7)	24.4 (17.4)	65.5 (79.3)

5. 当面の経営上の問題点(%)<()内は前回の結果です>

1.受注不振 72.8 (69.2)	2.売上不振 68.3 (61.5)	3.輸出不振 4.9 (8.7)	4.製品単価安 30.3 (35.8)	5.取引条件悪化 5.9 (5.4)
6.過当競争 15.7 (16.4)	7.輸入品との競合 6.6 (4.0)	8.流通経費増大 2.1 (9.4)	9.原材料高 17.1 (47.8)	10.借入負担増 15.3 (12.0)
11.貸し渋り 2.8 (3.7)	12.人件費高 15.0 (16.4)	13.技能者不足 11.1 (10.7)	14.技術力不足 8.7 (11.0)	15.マーケティング力不足 5.9 (2.7)
16.設備過剰 10.8 (9.7)	17.法的規制 1.0 (1.7)	18.為替問題 3.1 (5.7)	19.環境問題 0.3 (1.7)	20.人材育成 16.0 (13.0)
21.研究開発 5.6 (4.0)	22.その他 0.7 (0.7)			

6. 中小企業緊急雇用安定制度の対応状況

助成金を受けている 26.80%	助成金を申請中・相談中 19.50%		
助成金制度に関心あり 23.00%	助成金制度を受けない 24.70%	その他 0.20%	

7. 皆様のご意見、ご要望

全く不振です。

10%の自動車部品（冷却タンク）が11月までは受注があったが、12月以降後3月まで0となる。今後も見通しが暗い。

平成21年1月～3月は、とても苦しい時期だと思います。

先行の動向が全く見えません。頑張るしかありません。

景気の悪化に伴い、消費者の消費意欲も無くなり、物が売れない時代に入って来ている。何時の時代も政治の舵取りが大切であり、今、何をやるのかが問題である。土日の高速料金1,000円では消費の刺激策にはならない。月～金曜日までの全車両を1,000円にする事により、中小企業の救済刺激策となると考えられ、工業会より政治への働きかけをお願いします。

原油価格下落の成果が、まだ原材料に十分に反映されてなく、お客様からは値下げの要求がきていて、製品単価の調整に苦労してます。

売上が増加しているが一機種。その他が5～10%減。増加している機種が終わったときが心配。

'内需拡大による消費増加に期待

原材料メーカーは何を考えているのか？我々成形メーカーが値下げを負担し、エンドユーザーに対しては価格にほとんど転嫁していないので値下げの要求もありません。それをいい事にして材料メーカーは訳のわからない屁理屈並べてほとんど値下げしていません。組合として全国的組織を機能させて頂きメーカーと交渉して頂けないものでしょうか。公正取引委員会に話をしたらどうでしょうか。ほとんどの物が値下がりしようとしているのに原価が値下がりし更に円高という状況でありながら価格を下げない理由があるのでしょうか？

助けてえー

4月以降増産（生産量回復）との話はあるが、前年並みに戻ることはないと考える。引き続き厳しい状況。

セーフネットのさらなる拡充、雇用調整助成金の助成率100%を希望します。

皆で車を買いましょう。

(5)の書類の受理に順番待ちの時間が掛かりすぎではありませんか？

景気の底がまだ見えない（特に弱電関連）このままの売上げが続けば資金繰りができなくなる。

人員調整について労使間で円満に解決できる方策があれば情報がほしい。

会費免除は助かります。

かつて経験したことのない大不況でどうしたら良いかわからない。とりあえず経費削減、人員削減などやれることから一つ一つ実行しているが、乗り切る自信はない。乗り切ったとしてもその先に何が待っているのかわからないところに不安が残る。

この時期のスタグナーションはやめていただくよう、協会、組合でアピールしてほしい。

4, 5, 6月は受注数量が大幅な減少で予定がでていますが、7月以降がまったく見えない。新規に受注出来る物が無い。生産設備を縮小し、企業全体を小さくして経営をするつもりです。

問題点その他：償却増加

2月度が底の感有り。次年度売上回復は70%が限度と思います。

中小企業雇用安定制度：現状は受けるつもりはないが必要発生時には申請するつもり。意見：当社は内需・消費動向に影響されやすい製品構成であるので、2月まで月別売上昨年対比はまずまずであった。しかし、3月単月は大幅昨割りで、落ち込み大きく厳しい。期末在庫調整も幾分織り込まれているだろうが、雇用不安が消費減に影響を与え、今後この傾向が続くことを懸念している。

社内の改革、チャンス到来

景気のよし悪しは今に始まった訳でも無し。大事なことは生産者は生産するもの、商品は時代とともに変化する。また近年の変化はかなり早い。全ての考え方を時代に合わせていくこと。

21年1月までは前年比全て向上していたが、2月から急激に悪化。市場での仕事量が激減している。政府に景気が好転するような施策を打って欲しい。

会員の多数が中小企業緊急雇用安定制度を利用。今後ともご指導の程宜しくお願い申し上げます。

合理化により損益分岐点の引き下げを実施中。当社の場合自動車関係が急落。早期の回復は期待できないのが現状。

成形材料商社からの情報では、3月、4月の注文が上向き傾向とか。電器、電子関係で全体の景気の上向きを期待しています。

早く経済良くなって欲しい。

まだまだ厳しい状況が続いている。早い回復が待たれる。

どうしてよいか分かりません。ご指導の程宜しくお願い致します。

今後の製品単価の下落

安定制度を知らない

申請1ヶ月後に25%認可。遅くなった理由は保証協会の遅れ。政府保証への期待も失望。

米国経済の好転しか日本の景気上昇は考えられないのが残念。自動車産業は大幅に減少している。政府は車の購入優遇策を講じて欲しいですね。

先の見通しが不透明なので、対応が難しい状況

各分類ごとの業況判断(平成21年1～3月期) < 前期比・前年同期比 >

1. 数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております 2. 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

		全 体		団 体 別								製 品 別													
				中 部 日 本		東 日 本		神 奈 川 県		西 日 本		日 雑 貨 類 用 品		容 器 キ ャ ッ プ 包 装		電 気 ・ 電 子 通 信 部 品		自 動 車		住 宅 関 連		医 療 機 器		そ の 他	
				前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
生産高 売上高	増加	6.6	7.3	5.8	5.8	6.0	9.5	5.9	0.0	7.5	7.5	4.2	6.3	16.3	22.4	2.9	4.3	2.8	4.2	22.2	0.0	4.0	4.0	18.2	0.0
	横這	15.3	12.5	7.7	5.8	14.3	15.5	23.5	17.6	17.9	12.7	27.1	22.9	18.4	28.6	18.6	7.1	4.2	1.4	0.0	11.1	8.0	4.0	18.2	18.2
	減少	76.3	80.1	86.5	88.5	79.8	75.0	70.6	82.4	70.9	79.9	66.7	70.8	61.2	49.0	77.1	88.6	93.0	94.4	77.8	88.9	88.0	92.0	54.5	81.8
製品単価	上昇	4.2	14.3	0.0	9.6	6.0	20.2	0.0	17.6	5.2	11.9	12.5	22.9	2.0	26.5	2.9	7.1	1.4	11.3	0.0	11.1	4.0	12.0	9.1	0.0
	不変	61.3	47.4	67.3	40.4	65.5	48.8	76.5	52.9	54.5	48.5	60.4	47.9	55.1	49.0	61.4	45.7	74.6	43.7	44.4	44.4	60.0	56.0	27.3	54.5
	下降	31.4	37.3	28.8	46.2	27.4	31.0	23.5	29.4	35.8	38.8	22.9	25.0	38.8	24.5	31.4	47.1	22.5	43.7	55.6	44.4	36.0	32.0	54.5	45.5
採 算	好転	2.4	5.9	1.9	3.8	3.6	8.3	0.0	0.0	2.2	6.0	0.0	0.0	8.2	18.4	1.4	2.9	0.0	4.2	11.1	0.0	0.0	4.0	9.1	18.2
	横這	20.9	16.7	15.4	9.6	25.0	19.0	17.6	17.6	20.9	17.9	22.9	29.2	44.9	38.8	14.3	7.1	8.5	2.8	33.3	44.4	28.0	16.0	9.1	0.0
	悪化	73.9	76.3	80.8	84.6	71.4	72.6	82.4	82.4	71.6	74.6	75.0	68.8	42.9	40.8	80.0	88.6	90.1	93.0	55.6	55.6	72.0	80.0	72.7	81.8
所定外 労働時間	増加	2.4	3.5	1.9	3.8	3.6	4.8	5.9	0.0	1.5	3.0	0.0	2.1	10.2	10.2	0.0	2.9	0.0	2.8	11.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	横這	25.4	23.3	15.4	9.6	25.0	23.8	29.4	35.3	29.1	26.9	39.6	39.6	30.6	40.8	24.3	12.9	7.0	4.2	33.3	33.3	44.0	36.0	9.1	18.2
	減少	70.0	72.5	82.7	84.6	71.4	71.4	64.7	64.7	64.9	69.4	58.3	56.3	55.1	49.0	74.3	82.9	91.5	93.0	55.6	66.7	56.0	64.0	72.7	81.8
製品在庫	増加	15.7	18.1	9.6	17.3	19.0	16.7	5.9	5.9	17.2	20.9	22.9	27.1	20.4	24.5	11.4	10.0	12.7	14.1	22.2	11.1	8.0	20.0	18.2	18.2
	横這	40.1	35.5	32.7	21.2	45.2	46.4	41.2	47.1	39.6	32.8	47.9	45.8	51.0	51.0	35.7	31.4	23.9	21.1	44.4	22.2	56.0	44.0	45.5	36.4
	減少	42.5	46.3	57.7	61.5	35.7	36.9	52.9	47.1	39.6	46.3	27.1	27.1	24.5	24.5	51.4	58.6	63.4	64.8	33.3	66.7	36.0	36.0	27.3	45.5
材 料 調達単価	上昇	11.1	24.0	5.8	25.0	10.7	23.8	11.8	35.3	13.4	22.4	18.8	27.1	6.1	20.4	12.9	25.7	7.0	21.1	11.1	22.2	8.0	20.0	27.3	54.5
	横這	51.9	40.1	59.6	46.2	60.7	42.9	58.8	47.1	42.5	35.1	39.6	27.1	24.5	22.4	64.3	51.4	69.0	52.1	11.1	22.2	68.0	52.0	36.4	9.1
	下落	35.2	35.9	34.6	28.8	28.6	33.3	29.4	17.6	40.3	42.5	39.6	45.8	65.3	57.1	21.4	22.9	23.9	26.8	77.8	55.6	24.0	28.0	27.3	36.4
総合判断	好転	3.1	5.2	3.8	5.8	3.6	7.1	0.0	0.0	3.0	4.5	0.0	0.0	8.2	14.3	1.4	4.3	1.4	2.8	11.1	11.1	0.0	4.0	18.2	9.1
	横這	18.1	15.7	11.5	3.8	17.9	16.7	11.8	23.5	21.6	18.7	22.9	27.1	36.7	36.7	12.9	7.1	4.2	2.8	11.1	11.1	36.0	16.0	9.1	9.1
	悪化	76.3	78.7	84.6	90.4	78.6	76.2	82.4	76.5	70.9	76.1	75.0	72.9	51.0	49.0	82.9	88.6	93.0	93.0	77.8	77.8	64.0	80.0	63.6	81.8
来期の 見通し	好転	8.7	7.0	1.9	5.8	9.5	10.7	23.5	5.9	9.0	5.2	6.3	4.2	14.3	16.3	5.7	5.7	9.9	2.8	11.1	11.1	4.0	4.0	9.1	9.1
	横這	30.7	24.4	30.8	17.3	38.1	28.6	35.3	35.3	25.4	23.1	37.5	33.3	46.9	42.9	30.0	17.1	26.8	15.5	11.1	11.1	24.0	28.0	0.0	18.2
	悪化	56.1	65.5	67.3	75.0	52.4	60.7	35.3	52.9	56.7	66.4	45.8	60.4	32.7	34.7	62.9	72.9	60.6	78.9	77.8	77.8	72.0	68.0	72.7	72.7

各分類ごとの経営上の問題点(平成21年1～3月期)

1. 数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております
2. 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

	全 体	製 品 別						
		日用品・ 雑貨類	容器包装・ キャップ	電気・電子・ 通信部品	自動車	住宅関連	医療機器	その他
受注不振	72.8	70.8	42.9	90.0	81.7	55.6	76.0	54.5
売上不振	68.3	81.3	53.1	60.0	78.9	55.6	76.0	72.7
輸出不振	4.9	4.2	2.0	2.9	8.5	0.0	4.0	9.1
製品・請負単価安	30.3	45.8	42.9	24.3	18.3	22.2	24.0	27.3
取引条件悪化	5.9	2.1	4.1	7.1	5.6	11.1	16.0	0.0
過当競争	15.7	27.1	20.4	14.3	8.5	11.1	16.0	0.0
輸入品との競合	6.6	8.3	10.2	4.3	2.8	0.0	12.0	9.1
流通経費増大	2.1	0.0	2.0	2.9	4.2	0.0	0.0	0.0
原材料高	17.1	25.0	16.3	11.4	11.3	22.2	32.0	18.2
借入負担増	15.3	12.5	8.2	25.7	18.3	11.1	0.0	18.2
貸し渋り	2.8	6.3	2.0	2.9	1.4	0.0	4.0	0.0
人件費高	15.0	14.6	18.4	15.7	14.1	11.1	8.0	18.2
技能者不足	11.1	12.5	26.5	7.1	4.2	11.1	12.0	9.1
技術力不足	8.7	8.3	22.4	8.6	2.8	0.0	4.0	9.1
マーケティング力不足	5.9	6.3	8.2	2.9	5.6	0.0	12.0	9.1
設備過剰	10.8	12.5	4.1	11.4	19.7	0.0	4.0	0.0
法的規制	1.0	0.0	0.0	1.4	0.0	11.1	0.0	9.1
為替問題	3.1	2.1	2.0	4.3	2.8	0.0	4.0	0.0
環境問題	0.3	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人材育成	16.0	14.6	24.5	20.0	9.9	22.2	12.0	9.1
研究開発	5.6	6.3	6.1	2.9	1.4	22.2	16.0	9.1